

おうち防災訓練（第2回）

新型コロナウイルス感染症により防災訓練の実施が難しいため、「おうち防災訓練」をお届けしています。今回はシリーズの第2回目です。

今回は「震災時の避難」について考えてみましょう



在宅避難について

本町内会域内は地盤が比較的安定しており、急傾斜地区は一か所のみです。また、建物の耐震性が強化される以前(1981年の建築基準法の改正前)に建築された家もそれほど多くないようです。木造住宅の密集もなく、近年ではガスの遮断装置の普及などから、大地震が発生したとしても多くの建物が使用できると思われます。

自宅で居住の継続できる状況であれば、在宅避難をしましょう。在宅であれば、プライバシーは守られ、家族で落ち着いて休養することができます。また、感染症の予防をすることもできます。

在宅避難の準備をしましょう



○ライフラインの代替品を備えましょう

ガス→カセットコンロ 電気→乾電池・モバイルバッテリー
水道→ペットボトル

○食料品や日用品を備えましょう

日頃利用している食料品や生活必需品を少し多めに購入する「日常備蓄（ローリングストック）」により備蓄をしましょう。

○下水道の使用について

下水が溢れるなど、下水が使用できない場合に備えて、携帯用トイレ等を準備しておきましょう。また下水が使用できても水道が止まっている場合でも、お風呂に水を貯めておくと流すことができます。

☆アウトドア用品（バーベキュー用品、テント、寝袋等）も役立ちます。



車中避難やテント避難をお考えの方は、一度宿泊訓練を行うことをお勧めします。

詳しくは、5年前に全戸配布された黄色い「東京防災」の本を参照してください。

